

令和3年度 上田南幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

より良い園運営を行うため、園の自己評価の実施が法律で規定されました。これは国からの評価項目の指標に基づき園で取りまとめた自己評価です。

1. 園の教育目標

「体を動かすことで人間は育つ」を基本に据え、外遊びを豊富に行う活動「歩育」・「運動遊び」を通じ、「戸外で元気よく体を動かして大勢の友だちと遊ぶことが好きな子を育てます」

- ①お友だちと元気に遊ぶことで、大勢の友だちと関わる機会を増やす
- ②笑顔で大きな声であいさつすることで、コミュニケーション力を高める
- ③夢中になることで集中力・意欲を高め、あきらめないで最後まで頑張れる力をつけます
- ④学年を超えて接することで思いやりの気持ちを育てます
- ⑤体を動かすことで生活リズムの基本を作り1日の生活の安定をはかります

2. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	A
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

3. 園長より本年度の取り組みについて

- ・コロナ禍で園活動にも様々な制約がある中ではありましたが、「子どもたちの学びを止めない」ということでどうにか活動が出来ました。子どもたちは園庭やグラウンドで思う存分体を動かし遊びに集中することが出来たと思います。
- ・園バスを使用している園外保育が難しいので、園近辺への散歩を増やし「歩育」に取り組んだ。子どもたちは歩くことに楽しみを持って取り組んでいた
- ・お便りや写真の配信、出欠席連絡などでデジタル化が進んだ。文章のレイアウトなど保護者が見やすい工夫などより取り組んでいきたい。特に紙ベースでの記載を画面の小さいスマホで見るとのことへの移行において工夫が必要と感じる
- ・会議や研修会などオンラインでの参加が出来るようになったので、職員にはより積極的に参加を促していきたい